

stage

毎年のことではあるが、この時期になると何故かワクワクした気分させられる。えんぶりも終わり、寒さも和らぎ、何か春めいて来たというだけでない。

そう、高校等の卒業式も終わり、若者達(何か年寄りくさい言い方ではあるが)がそれぞれの進む道へと歩み始める。時間の経過的には、普段と変わらず一日二十四時間なのだが、三月から四月にかけての毎日というものは、大学に合格した者、落第した者、ヒキコモゴモ、なかなか変化に富んでいておもしろい、と言っては失礼か。

高校演劇において、その世代が形成する「色」というものは、や

色

演劇空間「スペースベン」

はりその年の三年生によるところが大きいと思われる。「芝居のつくり方」ということで、私なりの全く個人的な見解で言わせてもらえば、一昨年からの変化もおもしろい。

一昨年の卒業生は、なかなか慎重派であった。一見破天荒な、自由な芝居づくりをしているようで、その実、石橋を叩いても渡らないような、そんな高校生であった。常に考え、自分本位であろうが、納得しなければ動かないようなところがあつた。

毎週金曜日のFANSでも、いろいろな高校から集まってくるのが結構なされているが、その年その年での芝居の、考え方の「色」が違うことはとても興味深い。それぞれの高校が持っている「色」というものも確かにあり、その違いにより仕上がった作品の違いも興味深いのであるが、それにも増して、その時代といふかその年の「今」の世代が形成する「色」の違いはおもしろい。

高校演劇において、その世代が形成する「色」というものは、や

△FANS代表・田中勉▽

昨年の卒業生とは言え、一昨年とは正反対とでもいうか、石橋を叩きもせずに、というかその橋が石で出来ているのか、泥で出来ているのかも確かめもせずに渡るような高校生であった。感性勝負とでもいうのか、軽い感覚での直球勝負が多かったことが印象に残っている。それ故に作品の出来の善し悪しのばらつきが多かつたようだが、それが印象に残っている。善し悪しのばらつきが多かつたようだが、それが印象に残っている。

今年の卒業生は、その中間をいつていたのかもしれない。非常に慎重な一面を持っている

反面、非常に利他的な楽しみを重んじた作品をつくつたりする。まあの時代のしても一面性だけを持っている世代といふものはないであろうし、それが良くてそれが悪いといふことではなく、それぞれの世代の作品づくりの違いというものもとても楽しめる。

FANSというところは、学校の授業の場でも、ましてや塾でもない。やりたい事を自分で考え、企画し、実際の舞台にのせる。自由と責任を持ち、自主性を重んじた場と、ありたいと思つている。さて、一年生だった生徒が、今までの先輩の作品づくりをみて、何を思い、何を感じ、今年の三年生が中心となつてつくり上げる「色」はどんな色なのであろうか？

そんな高校生を覗いてみると、「謙虚さ」ということを考えさせられる。極端な言い方をすれば、若い時には謙虚になる必要などないと思うのである。謙虚な振りをして、腹黒い大人が何と多いことか。それよりならば「子供の暴力性」を引きずつたまま、生き方がヘタだと言われながらも、攻撃的に生きていく人間に興味をそそられる。

本来「謙虚」という言葉は、ひかえめでえらぶらなという意味であるが、芝居づくりに限らず、自分のやっている作業に本当に

「謙虚」であろうとするならば、他者に対しても「謙虚」である筈である。それを生きていくための「手段」としての謙虚」となりさがつた時に「謙虚さ＝腹黒さ」という図式になってしまふ。それよりならば、乱暴な定義付けかもしれないが「ひたむきな暴力性＝謙虚さ」と位置付けたい。

4月のFANS番組

時間／午後七時三十分～(全て) 料金／五百円(全て)

●4日(金)「ひまわりVOL.9」
出演／田中勉
※田中勉による一人芝居です。

●11日(金)「97春の新作発表会」
構成／富沢知成
※富沢知成氏による、久々のアコースティックライブです。

●18日(金)「星の影」
作／古里祐輔
演出／STF
出演／遠瀬純平、浅坂恵未、新里典子、豊川郁宏、沢田英明、野崎桂子
※STF第2弾は古里脚本でお送りします。

●25日(金)「山吹の花」
(Dream of Love)
作／音喜多由記子

演出／豊川郁宏
出演／下田久美子、堺健太郎、豊川郁宏、鈴木利典、音喜多由記子
※音喜多と豊川が脚本と演出のコンビを組んでお観せします。

●9日(水)「西尾まさき アコースティックライブ」
場所／スペースベン
※年間百本以上のライブ活動をしているプロのライブです。

●17日(木)
安達良春「コピー」(仮題)
だびよん版
場所／青森市シューだびよん

●17日(木)
安達良春「コピー」(仮題)
だびよん版
場所／青森市シューだびよん

※FANSでの「コピー」リセでの「ラグ」に続き、安達良春がだびよんにも進出公演します。

●20日(日)
FANS「遠くへ」ほか3本
場所／青森市シューだびよん
出演／田中勉、稲葉好紀ほか
※今までFANSで公演した何かを「シューだびよん」で公演します。

※FANSで公演した何かを「シューだびよん」で公演します。

△スペースベン・問い合わせ△

八戸市柏崎1-11-8
TEL & FAX 43-9876

△シューだびよん・問い合わせ△
青森市本町5-6-3
TEL 0177-22-2281